



▲あづま脳神経外科に整備されているホールボディカウンタ

果はまとまりしだい公表される予定です。

農地除染モデル実証事業の長泥・小宮・草野向押の3地区においては、最終段階の客土が完了後、地権者の立ち会いを得て引き渡しをする予定です。工期は1月31日までですが、実際の作業については12月で全て終了予定です。

本格除染は、現在、二枚橋郵便局周辺の住環境とその周辺を中心に除染作業をしています。環境省からの委託除染事業の須置地区除染工事については、12月上旬から工事に着手し、除染作業にあたっては村民の方が関わられるよう、村振興公社と連携しながら進めています。

モニタリングセンター運営委託事業については、10月23日に「特定非営利法人ふくしま再生の会」に委託し、村内の空間線量の測定、公表や既存の空間線量データの集約、公表により、村民に放射線に対し、安心が確保できるように進めて参ります。

農政関係

村外での営農再開支援は、ハード事業として、国の復興交付金事



▲村内で捕獲されたイノシシ

業を活用し、福島市内4カ所での農業用パイプハウス等21棟に加え、県内9カ所及び那須塩原市内などに37棟を追加整備するとともに、農業用機械等について30台を導入する計画の承認を受け、施設整備は10月24日に着工しました。村内の農地や道路、宅地におけるイノシシの被害が顕著なことから、村猟友会にイノシシの捕獲について協力を依頼しています。11月15日からの狩猟解禁に併せて、捕獲奨励金として1頭当り1万円を交付することとしています。

除雪体制

11月27日に除雪担当者会議を開催し、除雪体制を整えました。村がリースする除雪機械と建設業者等の保有する土木作業機械により除雪1次路線は、57路線102km、除雪2次路線は、133路線110kmを実施します。

避難状況

12月1日現在の県内避難は6159人で約92%、県外避難は514人で約8%の避難状況です。県内避難の市町村別人数は、福島市3791人、伊達市585人、相馬市423人、南相馬市344人、川俣町539人などとなっています。未避難者は8世帯13人です。

いやしの宿

送迎バスが12月17日に南相馬市原町区の借上げ住宅入居者向けの運行を始めるなど、ルートの見直しにより、多くの方が利用しやすくなるよう改善に努めています。昨年の秋の開設以来、これまで延べ2万7000人に活用していただき、県外に避難している家族との再会や行政区の班集會など、村民の

様々な交流拠点となっています。

企業操業関係

避難区域見直しにより限定的な事業種類にはなりますが、申請によって村内での事業再開が認められるようになりました。これまで、金融や自動車整備工場など、11事業所が許可されています。また、村内で事業再開が認められた事業所の皆さんが協力して、雇用促進グループと自動車整備グループの二つを構成し、県の中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に申請しております。これらの事業者は、村民の雇用や通勤を支える事業者であり、復興に向けて生活基盤を整えるためにも採択されるよう、村としても要望しております。

企業立地支援事業

継続操業2社の補助申請を認め補助の内示をしましたが、そのうち菊池製作所から、ふくしま産業復興企業立地補助事業の採択の影響から工場建屋の着工に遅れが出て、年度内完成が困難であるとの申し出がありました。従いまして、今年度に交付を予定していた村補

助金を、次年度の事業完成後に交付するよう変更になります。

東電の損害賠償

財物(土地・建物)・家財・営業損害の賠償の支払い時期がまだに具体化していません。村として、今後も避難を強いられている村民の声を国・そして東電に強く訴え、村民の日常生活が一刻でも早く落ち着きを取り戻せるよう、速やかな賠償の進行を働きかけてまいります。

学校教育関係

整備を進めていた飯館中学校体育館は、11月末に完成し、12月より運用を開始しています。なお、懸案の学校給食センターの件ですが、来春の供用を目指し、現在、建設を進めているところです。また、10月には小学校で、11月には幼稚園で、それぞれ学習発表会が開催されました。いずれも2年振りの開催です。子どもたちは学校生活で落ち着きを取り戻し、充実した学びが展開されつつあるものと思っております。



生涯学習関係

10月に県文化センターで「いいたて村文化祭」を2年振りに開催しました。展示会場には、800点以上の力作が並び、大ホールでは23の演目が発表されるなど、盛大な文化祭となりました。

社会体育分野では、初めてとなる村民グラウンド・ゴルフ大会を9月に開催しております。遠く神奈川県からも参加があり、135人が互いの健康と再会を喜び合いました。



▲10月27日に行われた「いいたてっ子発表会」

ふくしま駅伝

11月18日に第24回ふくしま駅伝が開催され、本村は、昨年引き続き第8区からゴールまでの9区間にオープン参加しました。沿道では、避難先から駆けつけた多くの村民に声援を送っていた皆さま。避難生活により選手の確保も難しい中、駅伝の伝統を絶やさずに参加していただいた選手並びに関係者のご苦勞に対し、心より感謝申し上げます。



▲健闘したふくしま駅伝